

移動等円滑化評価会議 中部分科会（令和8年7月31日実施） 自治体、事業者の取組

資料7・8

自治体名	資料名	資料番号
愛知県	ホームドアの設置促進に向けた取組	7－①
静岡県	ユニバーサルデザイン推進事業	7－②
岐阜県	岐阜県内鉄道駅のバリアフリー化に向けた取組	7－③
三重県	ユニバーサルデザイン(UD)学校出前授業における当事者参加	7－④
福井県	おもてなしバリアフリー・合理的配慮推進事業	7－⑤
名古屋市	名古屋市瑞穂公園陸上競技場での取り組み	7－⑥
静岡市	静岡市におけるバリアフリー化事業の取組み（交通分野）	7－⑦
浜松市	浜松市における鉄道駅バリアフリー化事業の取組み	7－⑧

事業者名	資料名	資料番号
東海旅客鉄道株式会社	鉄道バリアフリー料金制度 届出の概要	8－①
中部国際空港株式会社	中部国際空港の当事者参画～開港時と現在の取り組み紹介～	8－②

ホームドアの設置促進に向けた取組

ホームドア設置促進事業費補助金

ホームでの転落・接触事故を防止し、駅利用者の安全性向上を図るため、鉄道事業者が行うホームドアの設置に対して、市町村とともに支援。

- 補助先：市町村
- 補助率：市町村補助額の 1 / 3 以内
(ホームドア 1 列あたり 3,000 万円上限)

○ 補助実績

駅名・番線	整備期間
J R 金山駅 3・4 番線 (東海道本線ホーム)	2019～2021 年度
J R 名古屋駅 5・6 番線 (東海道本線ホーム)	2022～2024 年度
J R 名古屋駅 7・8 番線 (中央本線ホーム)	2023～2025 年度
近鉄名古屋駅 2・3 番線	2024 年度～

J R 刈谷駅総合改善事業費補助金

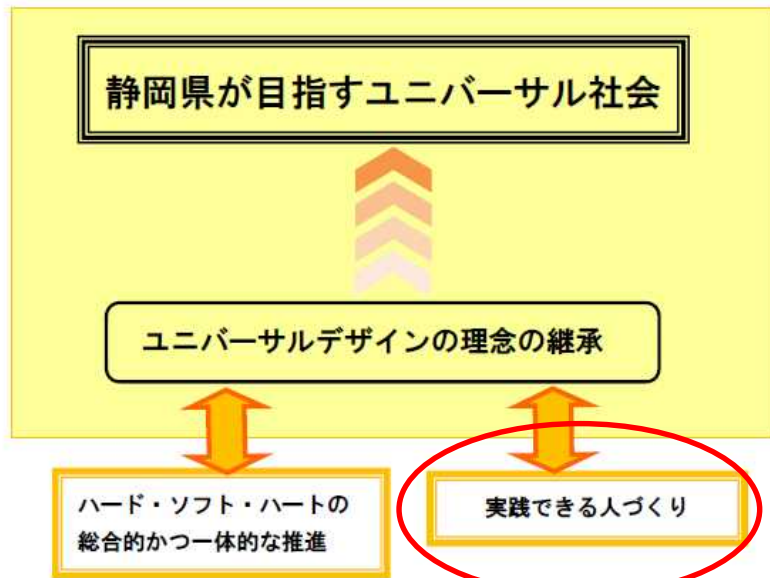
利用者が多く、広域性の高い J R 刈谷駅における利用者の安全確保と利便性向上のため、ホーム拡幅やホームドア設置等の駅総合改良事業に対し、国・刈谷市とともに支援。

- 補助先：刈谷市
- 補助率：市補助額の 1 / 3 以内
- 工事期間：2020～2029 年度予定
- 進捗状況：2025 年 5 月に拡幅後の下り線ホームの供用開始。2026 年 7 月に 1 番線のホームドアの供用開始。今後、上り線ホーム拡幅・上下線ホームドアの設置工事等を行う。

静岡県ユニバーサルデザイン推進計画

(第7次 計画期間:R7～R10年度)

<推進イメージ>



実践できる人づくり

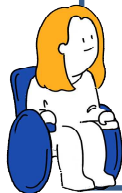


■若者への普及啓発

障害等多様な背景やニーズを持つ人々と若者が関わり合う機会を提供し、共にユニバーサルデザインについて考えることで、身近な場面から理解と実践の流れをつくる

■当事者と若者との交流会(R8新規)

- ・有識者による講話
- ・若者と障害がある方とのディスカッション



岐阜県内の鉄道駅のバリアフリー化に向けた取組

○概要

岐阜県鉄道駅バリアフリー化施設改善事業費補助金（H13～）

バリアフリー化事業への支援を行う市町村に対し、財政負担を軽減する補助を行うことで、鉄道駅のバリアフリー化を促進する

○補助対象

鉄道事業者が行うバリアフリー事業に対して補助をする市町村

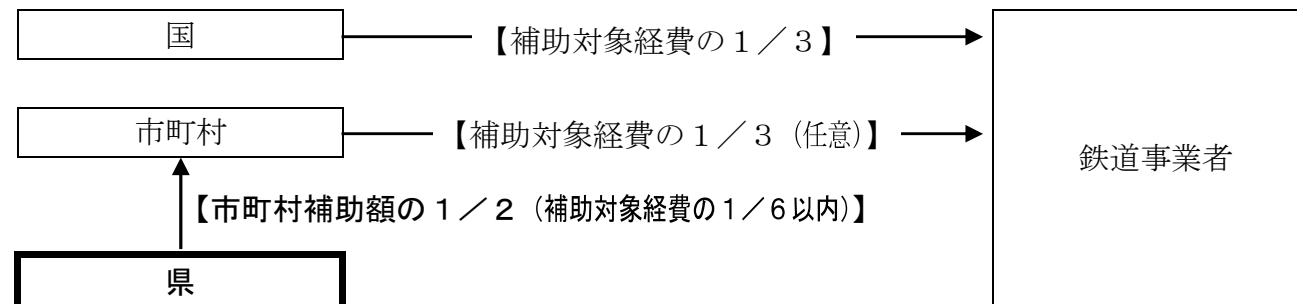
※基本構想に基づき、鉄道事業者が行うものであること

※国庫補助金の交付を受ける事業であること

○補助率

鉄道事業者 1／3	国 1／3	市町村 1／3（補助率任意）
		市町村 1／2 県 1／2（※）
		※補助対象経費の1／6以内

○補助の流れ



三重県

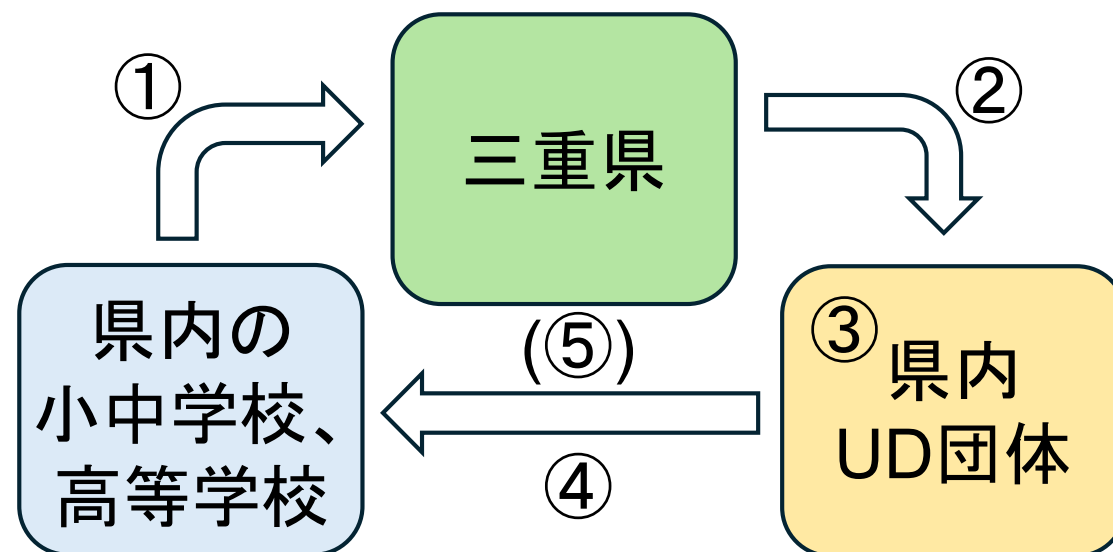
ユニバーサルデザイン(UD)学校出前授業における当事者参加

ユニバーサルデザイン(UD)学校出前授業

- ・ 第5次三重県ユニバーサルデザイン(UD)のまちづくり推進計画
施策体系1：ユニバーサルデザインの意識づくり【ハート】の取組
- ・ 次世代を担う子どもたちにUDの考え方を浸透させることを目的に、
県内の小中学校や高等学校において実施
- ・ 講座内容
(1)講義 [必須] …ユニバーサルデザインについての基本的な知識の講習
(2)UDに関するグループワーク
(3)体験講座…車いす体験・アイマスク体験・高齢者体験など

実施までの流れ

- ① UD学校出前授業申込み
- ② UD学校出前授業の実施依頼
- ③ 講師の選定などの調整
- ④ 事前打ち合わせ、
講師の派遣
- (⑤ ふりかえり)



当事者参加実例：亀山市

実施団体：UD夢ネット亀山（委託者：三重県、共催：亀山市社会福祉協議会）
亀山市内の学校でユニバーサルデザインの啓発活動、令和7年度7回実施

令和8年7月実施内容

○…講義、●…当事者との交流

○UDの概要

○視覚障がい当事者からのお話：

生い立ち、その過程での気持ち、クロックポジション、白杖について、声のかけ方

●教室移動：児童たちによる案内

●交流(児童を4班に分け、20分間でローテーション)

・6年1組教室 …車いす当事者：動画、合理的配慮について事例紹介

・6年2組教室 …聴覚障がい当事者：手話やスマートフォンでのコミュニケーション

・6年3組教室 …視覚障がい当事者：(講義をふまえて)質疑応答

・ワークスペース…片麻痺当事者・言語障がい当事者：文章の書き方やパソコンの使い方、クイズ

●給食

今後の展望

第6次三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画策定

主な取組(案)：研修等を通じた「障がいの社会モデル」の理解の促進

⇒学校出前授業で当事者が直接子どもと触れ合う形を広く取り入れ、「障がいは社会の障壁により生ずるものであり社会に取り除く責任がある」という考え方の効果的な浸透を図る

現状と課題

- 北陸新幹線開業や障害者差別解消法の改正に伴う民間事業者の合理的配慮提供義務化を見据え、民間事業者の**バリアフリー環境整備と合理的配慮体制**の構築が必要
- タウンミーティング（＝県民との意見交換会）において、当事者からはトイレ（洋式化、多機能化）や駐車場、スロープ、手すり等の整備促進を求める声が多い一方、**事業者はバリアフリー化の資金不足が課題**



**「合理的配慮」の精神のもと、全ての県民および来県者が快適に過ごせるよう
ハード&ソフト面からのバリアフリー化を推進**

整備方針

- 対象施設 不特定多数が利用する民間施設
医療施設、社会福祉施設、商業施設、娯楽施設、文化施設、体育施設、宿泊施設、教育施設、公共交通機関施設、興行・展示施設、環境衛生施設（公衆浴場等）、駐車施設、公共事業施設、（郵便局、ガス、電気等）、金融施設
- 支援内容
 - ①工事施工：出入口・廊下の拡張、スロープ・手すりの設置、点字ブロックの敷設、障がい者用駐車場の整備、トイレの拡張・多機能化 など
 - ②物品購入等：貸出用車いす、簡易スロープ、筆談ボードやコミュニケーションボード、点字や音声コードを用いたメニュー等の作成 など
- 補助金額

①＋②：ハードとソフト両面を行う場合	補助率 1／2（500千円上限）
②のみ：ソフト整備のみ行う場合	補助率 1／3（50千円上限）

県有施設のバリアフリー化

整備方針

- 障がいのある方が安心して利用するために必要な障がい者用トイレやオストメイト用設備、段差解消のためのスロープなど、県民の方が多く利用することが想定される施設や貸会議室等を備える県有施設を対象に、バリアフリー整備を進める。



R7年度の実施内容

点字ブロックの改修（6施設）

敷設されている既存の点字ブロックを
視認しやすい黄色の点字ブロックに改修



トリムパークかなづ（あわら市）改修前



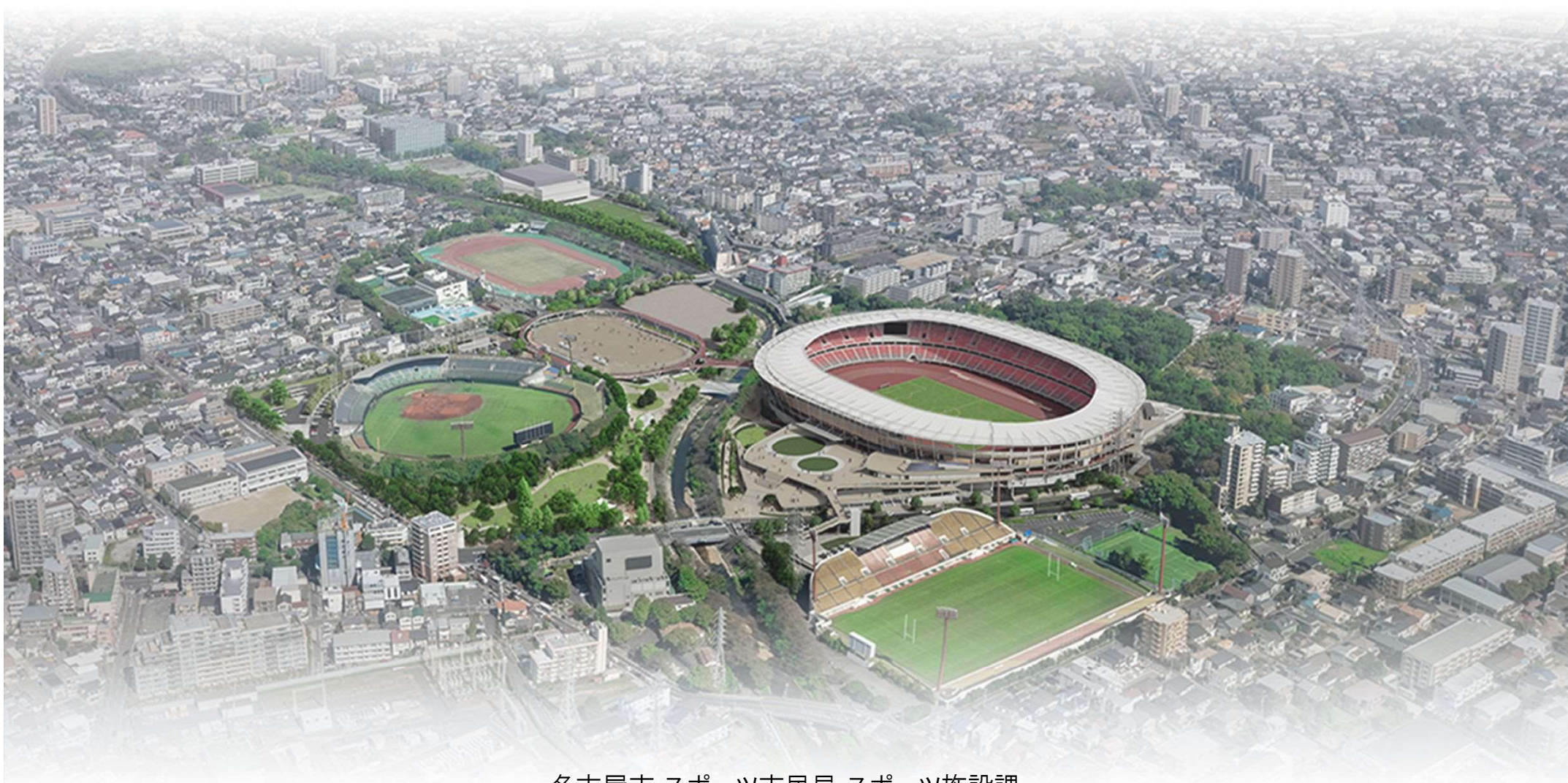
改修後

R8年度の実施計画

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| ○点字ブロックの改修 | 県有施設 2 施設 |
| ○段差解消スロープの設置工事 | 県立高校 1 校 |
| ○オストメイト用設備の設置工事 | 県有施設 7 施設、県立高校 6 校 |
| ○カームダウン・クールダウンルームの設置 | 県有施設 1 施設 |
| ○トイレ出入口部分へのシグナルエイドの設置 | 県有施設 1 施設 |

移動等円滑化評価会議 中部分科会

名古屋市瑞穂公園陸上競技場での取り組み



名古屋市 スポーツ市民局 スポーツ施設課

瑞穂公園と瑞穂公園陸上競技場



瑞穂公園は、名古屋市南東に位置し、自然と文化に触れることができる総面積約24haの運動公園。

1941年に瑞穂公園陸上競技場は完成した。
2026年に開催される、第20回アジア競技大会及び第5回アジアパラ競技大会のメイン会場となり、施設の老朽化、機能不足が指摘されていたため、陸上競技場の改築工事を実施。工事は、2023年4月に始まり2026年3月完成。





瑞穂公園陸上競技場の改築及び周辺の公園整備における完成イメージ図。
瑞穂公園は陸上競技場、野球場、ラグビー場等のほか、アーバンスポーツエリア、南ひろば、レクリエーション広場といったスペースも整備する。

障害者や高齢者をはじめ配慮を必要とする当事者も使いやすい施設を作るために

配慮すべき対象者の範囲が拡大している現状があります。また、パートナーシップ(協働)のまちづくりに関し、現在では当事者参加という過程がよりいっそう重要視されているところ
です。

これらの課題やニーズに応えるために必要な条件整備をしていくことこそが、福祉のまちづくりの本質です。当事者が参加し、当事者とともに決めていく過程を経て、必要な配慮について理解を深め、整備を進めていく取り組みが必要です。これにより、共生社会(インクルーシブな社会)の実現へとつながっていきます。

福祉都市環境整備指針8ページ

当初の流れ

計画設計前等に障害者団体向け連絡会を実施し、アンケートにより参加者から意見募集した。

課題

◎市が主体となり実施する「当事者参画の場」は要求水準書作成時が最後と想定される。この時点では詳細な図面等はなく、建築物の具体的なイメージがわからないまま意見をするのは参加者にとって困難である。

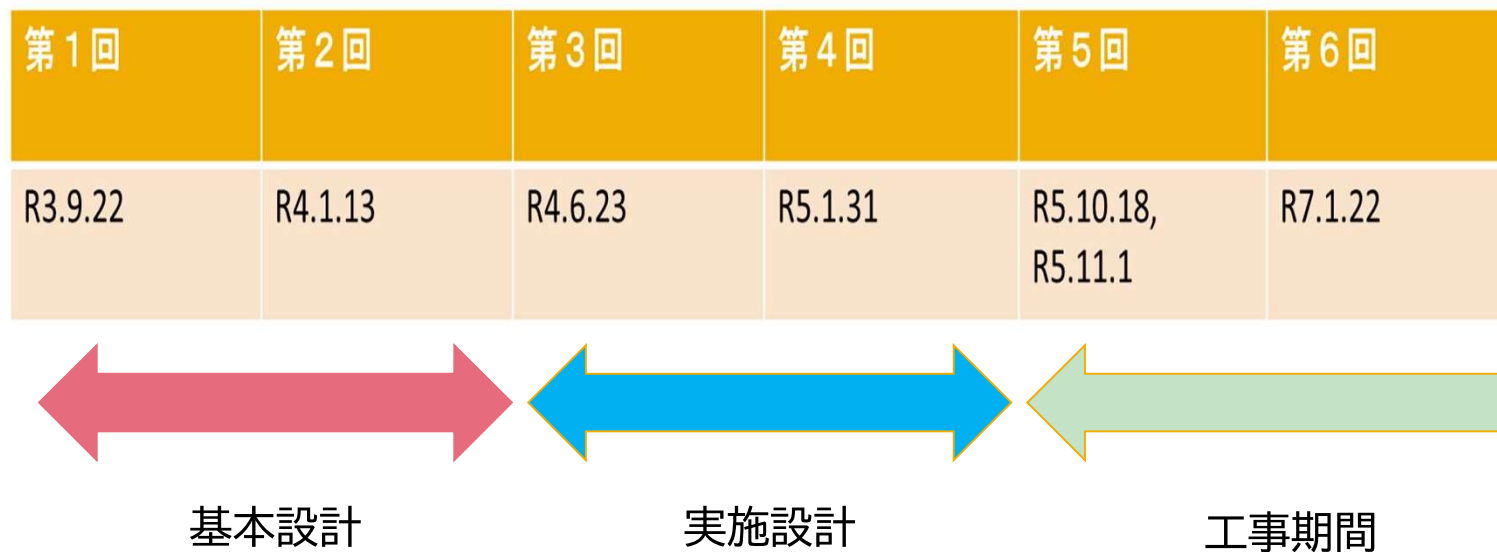
◎工事が始まってからでは、意見の反映が困難な場面もある。設計実施段階で意見を聞く機会の確保が必要である。

要求水準書の記載抜粋

オ 各種団体等へのヒアリング等実施業務

（ア） 設計及び施工段階において、市が指定する高齢者、障害者、子育てに関わる団体等に対して、整備業務に関する意見等のヒアリングを適宜実施すること。また、事業者が、意見交換、ワークショップ等を開催すること。

UD説明会の実施



スポーツ施設課の役割

- ・改築を行うSPCが、障害者団体等の意見を建築物に取り込みやすいように説明会等意見聴取の機会を設け、参加者が意見の出しやすい会議作りを行う。
- ・UD説明会においてバリアフリーに関する議論が成熟するよう専門的知識を有する健康福祉局の職員にも立ち会ってもらう。
また、説明会で聴取した意見を建築物を取り入れるにあたり、SPCとともに健康福祉局に相談する。

新しい瑞穂公園陸上競技場を、だれもが使いやすい施設にするために基本設計から実施設計へと進むにつれてますます具体的なこと細かな点について、意見を聞く機会の必要性がある。

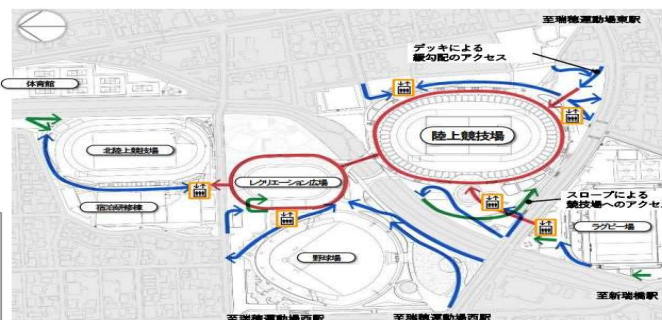
UD説明会資料抜粋

①これまでのご意見を踏まえた基本設計内容の報告

■ 1：多様なバリアフリールートによる快適なアプローチ計画

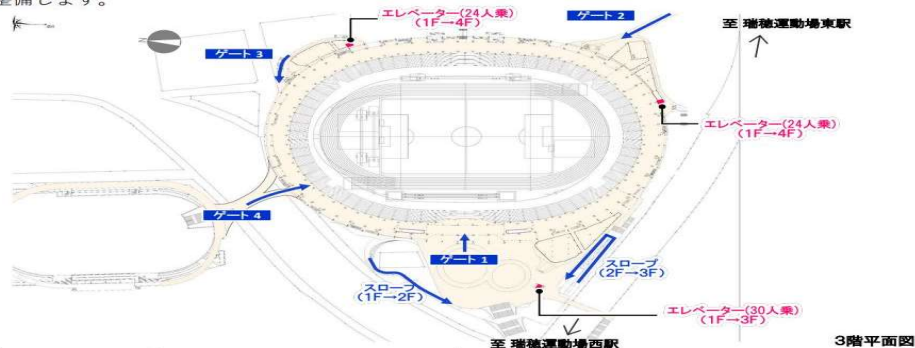
① 8の字ループを中心にした公園内のバリアフリールートの整備

公園の中心の8の字ループは、自動車動線とも分離された安全なバリアフリールートとなります。公園内では各所の段差を解消し、エレベーターも整備することで、公園内を巡る充実したバリアフリールートを整備します。



② 競技場の多様なアクセッスルート

競技場の動線の中心となる3階のコンコースにはスロープやエレベーターでアクセスが可能なルートを整備します。エレベーターは24人乗を基本とし、にぎわいの丘には30人乗のエレベーターを整備します。



第3回UD説明会 R4.06.23

株式会社 瑞穂LOOP-PFI

名古屋市瑞穂公園陸上競技場整備等事業

1

○出た意見を報告書にまとめ、次回説明会で共有

○課題や設計内容を共有することで意見が出やすいよう工夫



公園の風景となる「空」と「森」と「大地」の陸上競技場

市民の日常に寄り添う陸上競技場として、公園の風景となる姿を目指した。

「空」 雲のような膜屋根がやわらかに形を変えながら風景に馴染む膜屋根

「森」 豊かな木々の風景に溶け込む愛知県産のスギによる木格子

「大地」 海岸沿いの段丘が連なる縄文時代の風景を想起させるデッキ



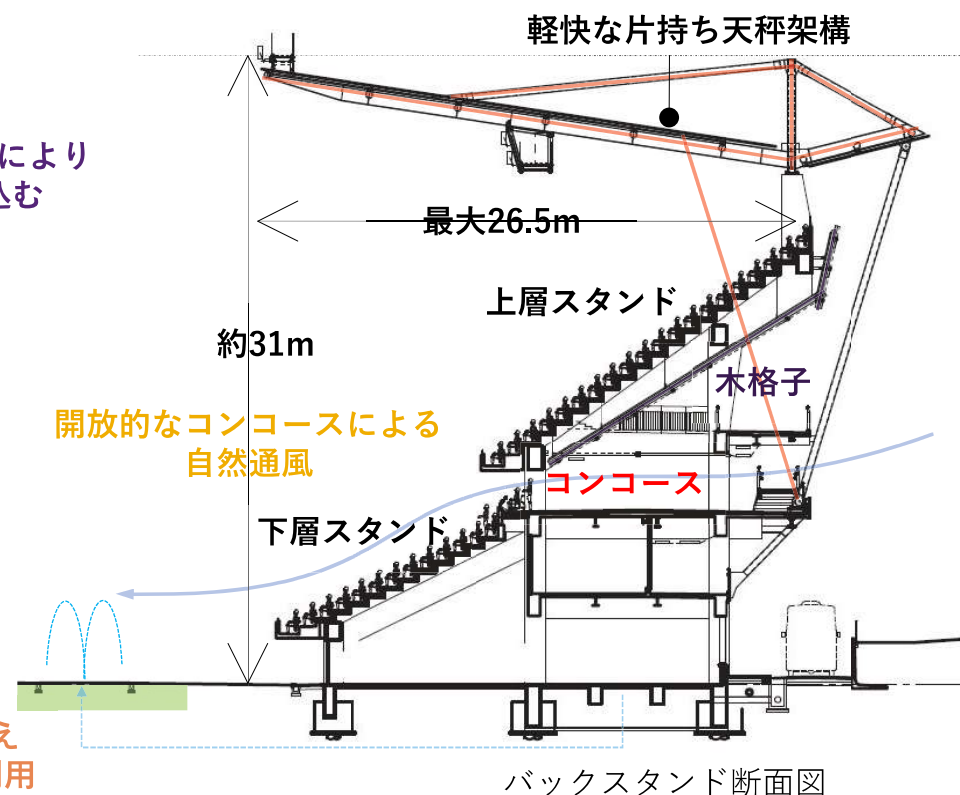
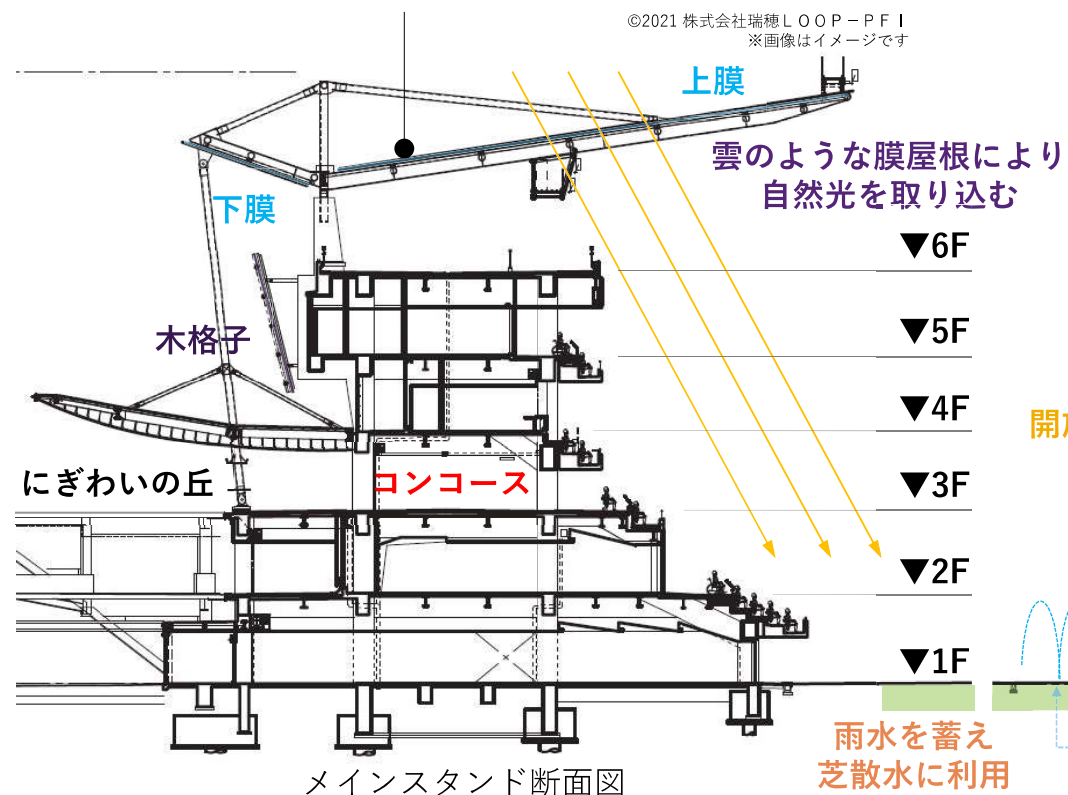
3万人の興奮と熱狂が渦巻くスタンド



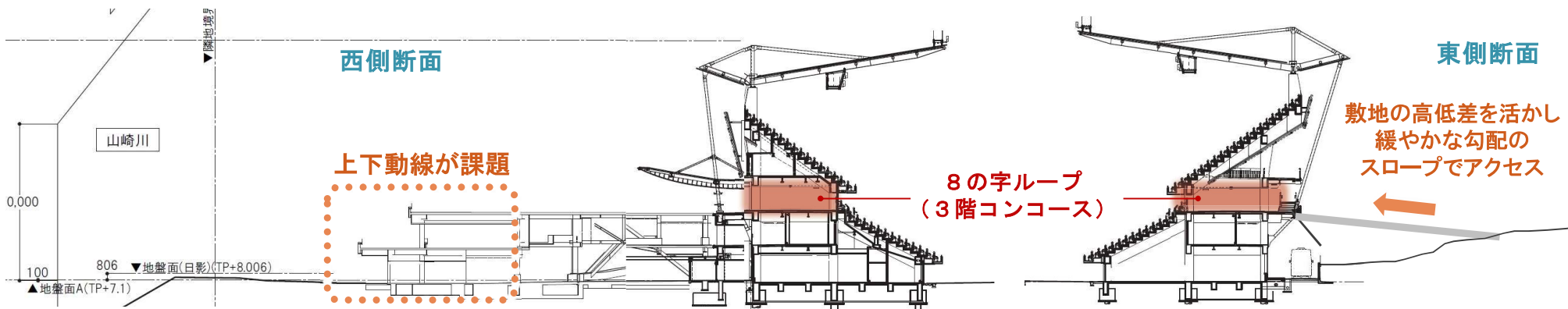
膜屋根で覆われる2層式のスタンド

陸上競技に加えサッカー、ラグビー、アメフト等の競技にも対応
パラ競技や市民、中高生などの一般的な大会の利用も想定

観客席は約30,000席 うち約300席が車いす使用者座席
上下2段の2層式スタンドがフィールドを360度囲う構成
全ての座席を膜屋根で覆う

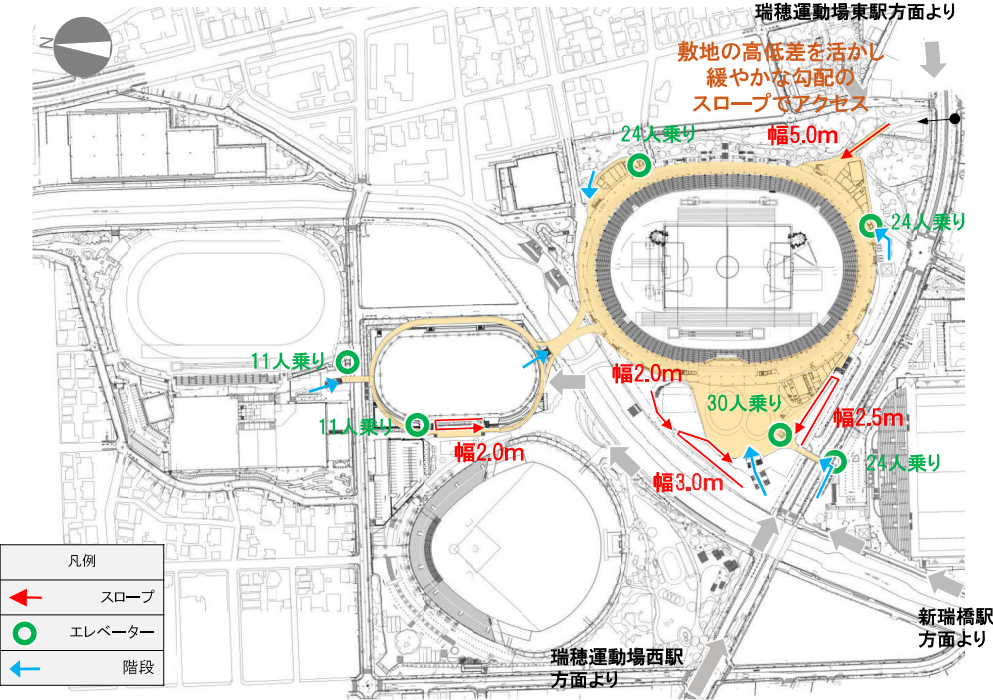


地上から3階への動線計画

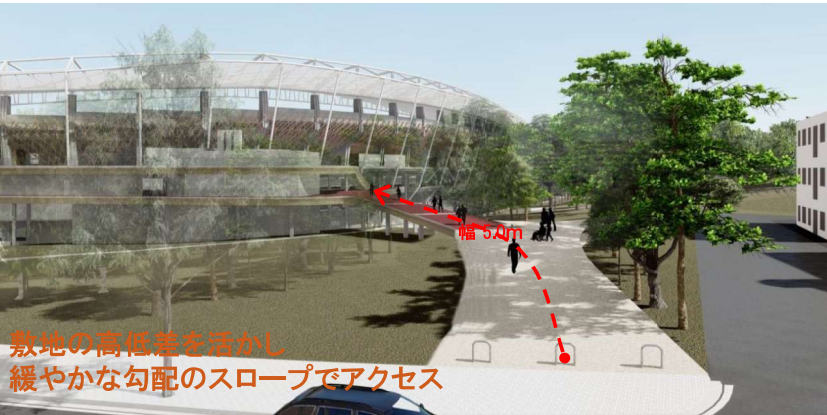


地上から3階への動線計画：スロープ実施設計時(変更後)

→各方面からのアプローチに対してスロープ・エレベーター・階段を組合わせて分散配置することで、様々な立場の方が利用しやすい動線とします。

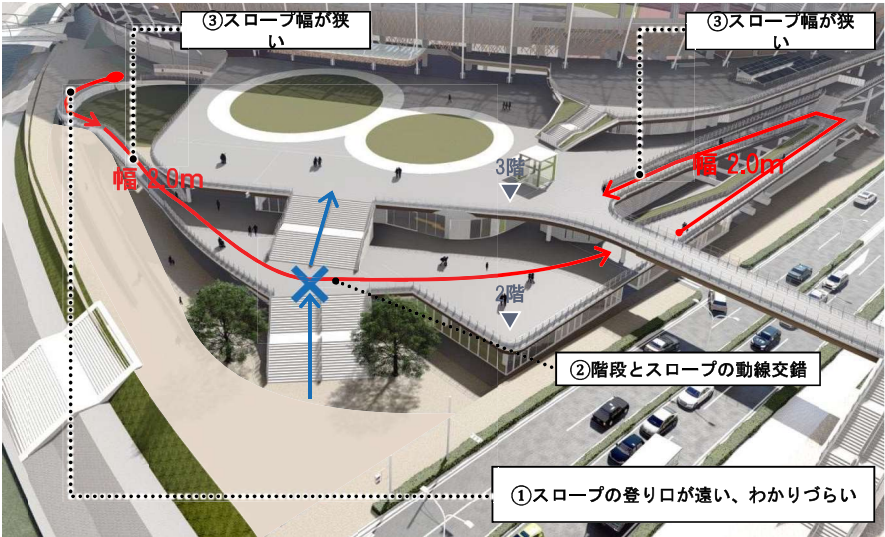


<A:南東デッキスロープ>

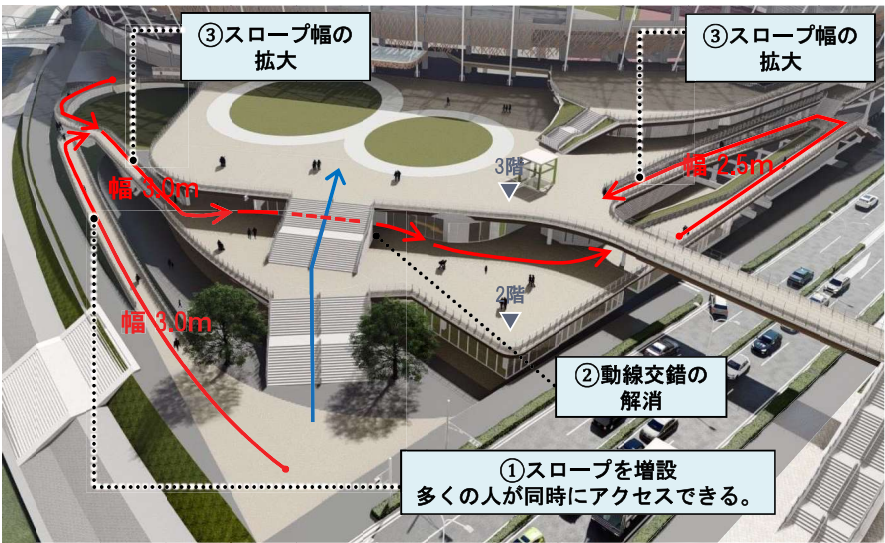


→スロープの増設を行い、登り口がわかりやすい計画としました。

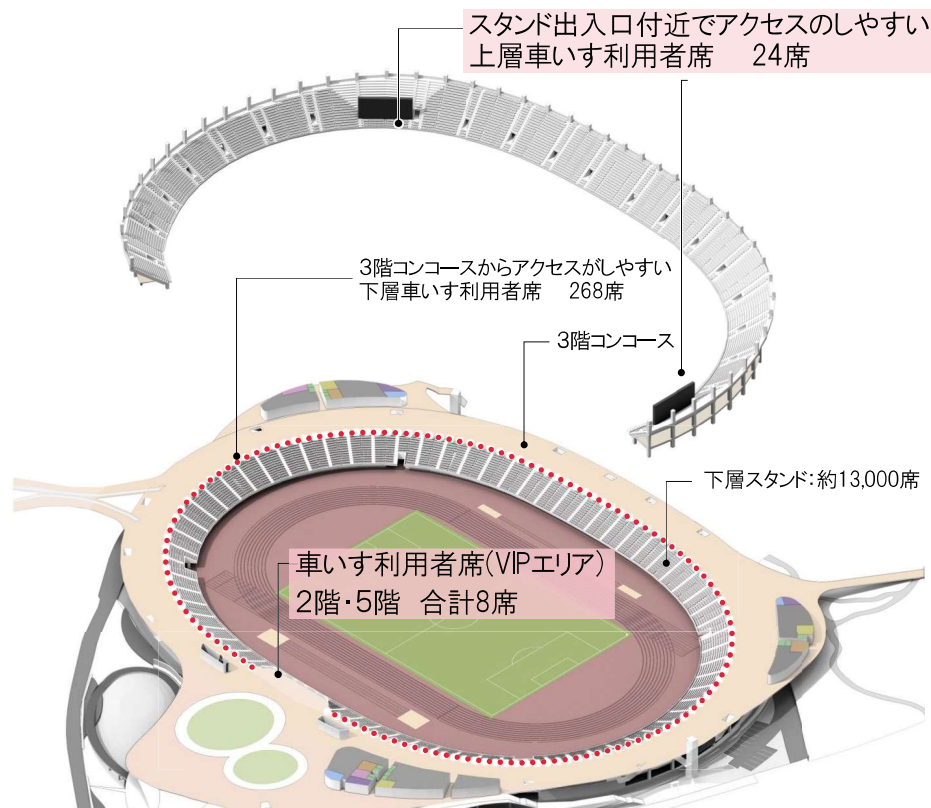
●基本設計時



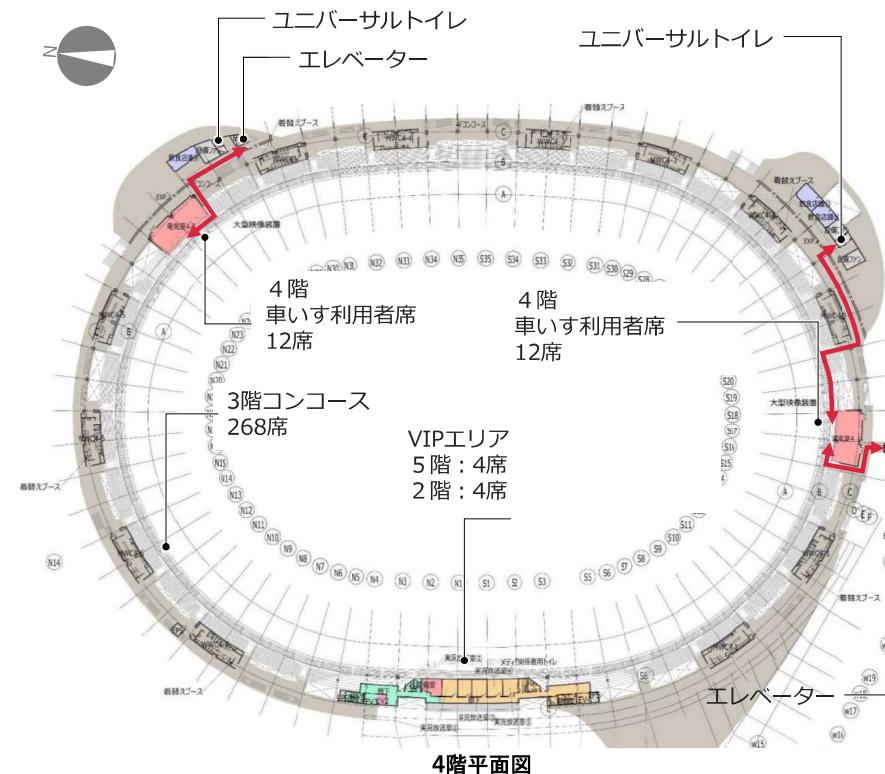
●実施設計時



観戦環境：車いす利用者席

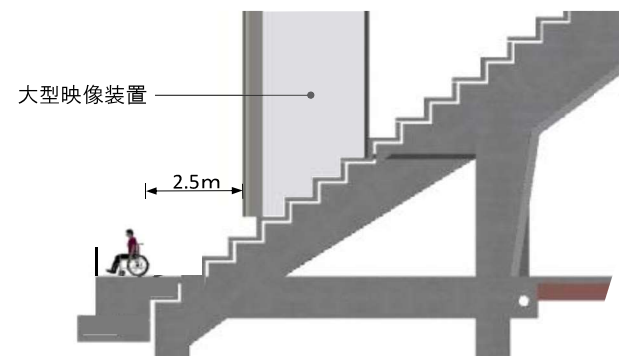


別紙1:車いす利用者席



→ 4階車いす利用者席はエレベーターやユニバーサルトイレと極力近い位置に設置

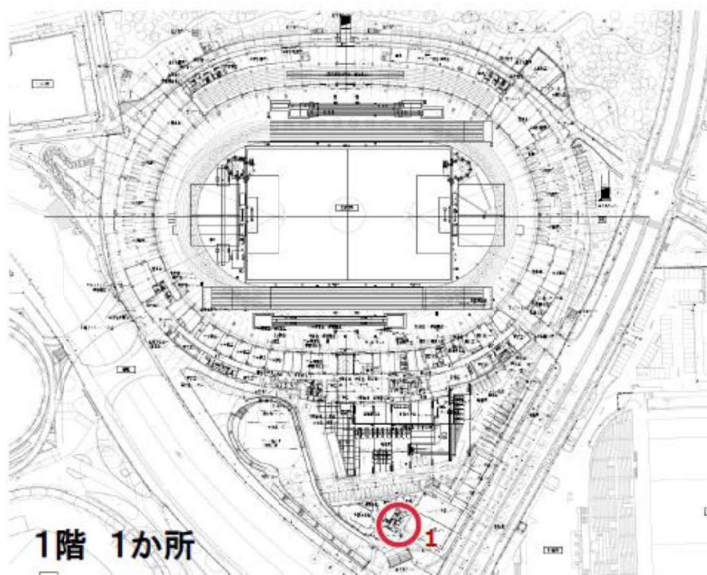
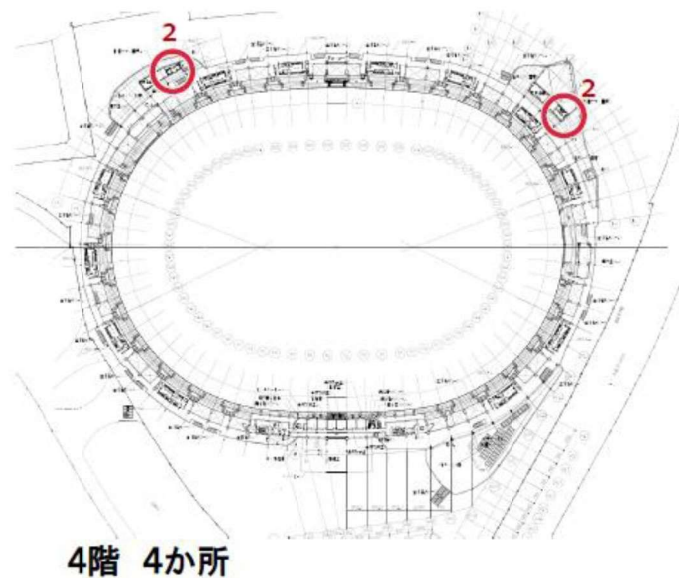
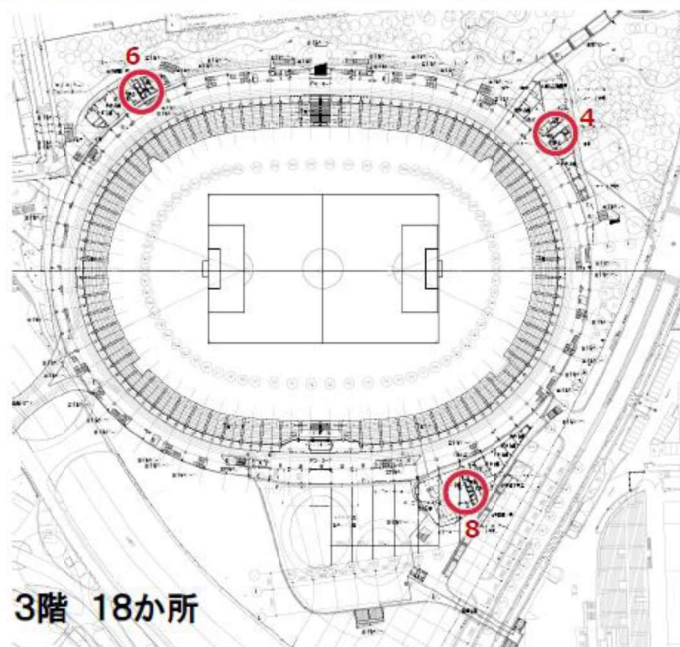
→ 2階、5階のVIPエリアにもユニバーサルトイレは計画



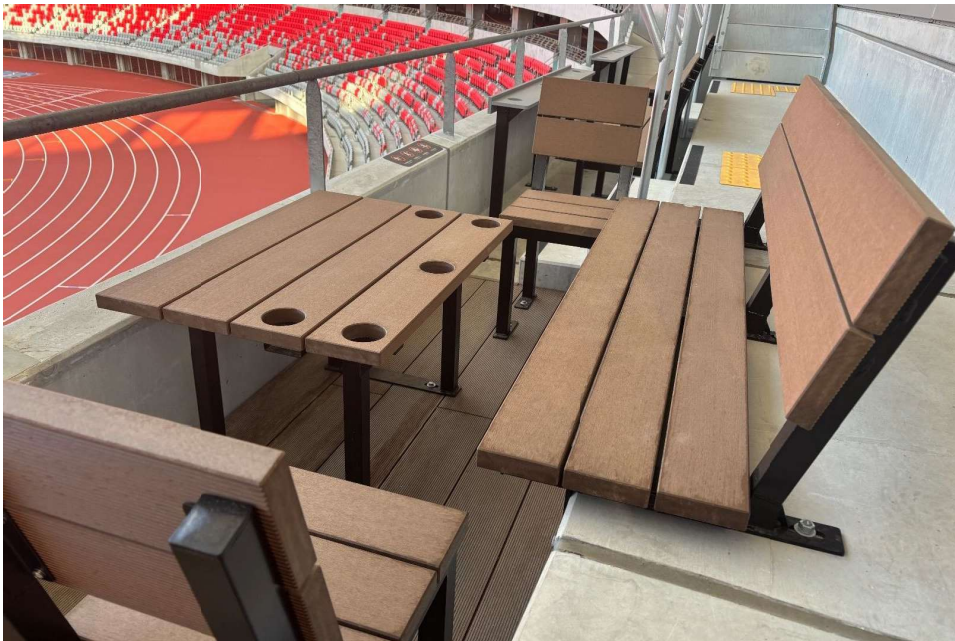
※ 図面は今後変更となる可能性があります

観客用バリアフリートイレの配置

赤字の数字は各エリアでのトイレの箇所数を示す



バラエティ豊かな観客席



取組や事例の内容

鉄道駅のバリアフリー化

鉄道駅などの利用者の多い施設に対し、バリアフリー化や安全対策を推進する

- ・1日あたりの平均利用者数3,000人以上の駅
- ・1日あたりの平均利用者数2,000人以上3,000人未満でバリアフリー基本構想に位置付けられている駅

《国の補助制度》

補助対象経費：スロープ設置や多機能トイレなどバリアフリー化に要する費用

補助率：対象事業費の1/3（国1/3、事業者1/3）

静岡市内鉄道駅のバリアフリー化状況

鉄道路線名	対象駅数	完了駅数
JR東海道本線	9駅	9/9駅 (事業完了)
静岡鉄道 静岡清水線	10駅	5/10駅

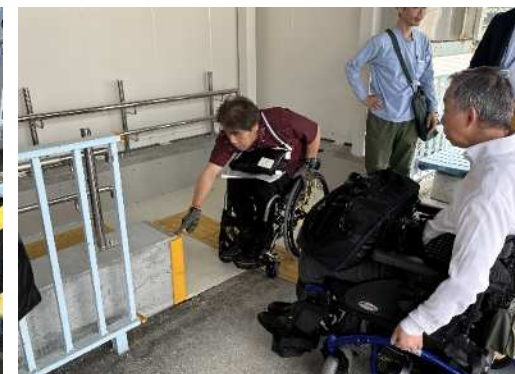
2025年度末時点

課題・取組実績

鉄道駅のバリアフリー化工事を実施する際に、障害者団体を含む関係者と現地視察等を開催し、工事の内容や施工時の対応について、意見交換を行っている。

《意見》

- スロープの終端部において、車いす利用が転回する際に小型擁壁に接触する恐れがあるため、隅切りしてほしい。
- 多目的トイレのボタンの位置が高く押しにくい。介助者には適切な高さである。
- 券売機の画面位置が高く、車いすに座ったままだとタッチパネルの対応がきない。また角度があるため、画面が反射してパネルの文字が全く見えない。
- グレーチングの網目が大きいため、車いすの前輪タイヤが落ちてしまうので細かいものを使用してほしい。



←現地視察の状況↑

静岡鉄道柚木駅(2026.6.5)

【浜松市】 浜松市における鉄道駅バリアフリー化事業の取り組み

1. 概要

本市では、誰もが利用しやすい鉄道駅を目指し、利用者の利便性、安全性の向上等を図るため、鉄道事業者が実施する鉄道駅のバリアフリー化設備整備事業に対し、「浜松市鉄道駅バリアフリー化設備整備費補助金交付要綱」に基づき、補助金を交付している。

2. 補助対象経費

多機能トイレの設置、スロープ設置・改修、ホーム固定柵の設置、ホーム段差解消の嵩上げ、エレベーターの設置 等

3. 補助金の額

補助対象経費の 1/3 以内の額（市・国・事業者で 1/3 ずつ負担）

4. 補助の実績

- ・平均乗降客数が 3,000 人/日以上
 - ・平均乗降客数が 2,000 人/日以上 3,000 人未満で、バリアフリー基本構想に位置付けられている駅
- ⇒遠州鉄道鉄道線の全 18 駅のうち、上記に該当するのは 6 駅
⇒そのうちの 3 駅に対し、これまで補助金を交付している。
※対象以外の駅であっても、補助金を交付している。

5. 最新の事例…遠州鉄道鉄道線 第一通り駅（R6・7）

■第一通り駅のバリアフリー化前の状況

当該駅は浜松市の中心部に位置し、一日あたりの平均乗降人数は約 3,000 人である。遠州鉄道の高架駅の中で唯一エレベーターが未整備であった。

また駅には多機能トイレがなく、男女共用トイレのみであったことから、一般の利用者にとって利用しづらい状況であった。

■事業内容及び整備効果

エレベーター棟・専用改札口の設置



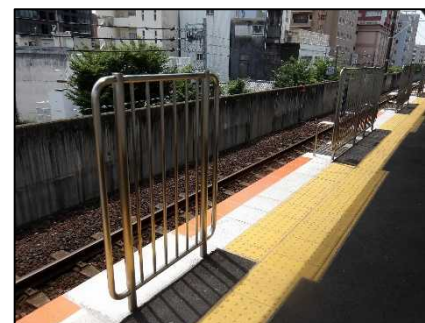
既設の改札口とは別にエレベーター専用の改札口を設けることで、地上からホームまで直接上がることができるようになった。

多機能トイレの新設・男女別トイレへの改修



オストメイトやベビーチェアを備えた多機能トイレの新設に加え、男女別トイレへの改修を実施し、誰にとっても利用しやすいトイレになった。

ホーム段差解消の嵩上げ



ホームを 5 cm 程度嵩上げし、電車の乗降口との段差を解消したことで、乗降時の危険性を軽減させた。